

2016年度 BCOJ ボード委員会 活動報告

ビール酒造組合 国際技術委員会  
議長 豊嶋 孝一

2016年度のビール酒造組合国際技術委員会（Brewery Convention of Japan、以下 BCOJ）ボード委員会の活動につきまして、以下のとおりご報告いたします。

## 記

2016年度の国際技術委員会は、下記のメンバーで活動した。

議長	中村 剛	（サッポロビール株式会社）	2016年3月まで
	豊嶋 孝一	（サッポロビール株式会社）	2016年4月より
ボード委員	秀島 誠吾	（サントリービール株式会社）	
	平野 俊典	（キリン株式会社）	2016年6月まで
	井戸田 裕二	（キリン株式会社）	2016年6月より
	相澤 正幸	（アサヒビール株式会社）	2016年6月まで
	渡邊 哲也	（アサヒビール株式会社）	2016年6月より
	島袋 勝	（オリオンビール株式会社）	
分析委員長	室 公志	（キリン株式会社）	
プログラム委員長	堀 智彦	（キリン株式会社）	
ビール酒造組合審議役	平井 浩一		2016年8月まで
	藤田 敦		
	野口 勝弘		2016年9月より
事務局長	白井 昌典	（サッポロビール株式会社）	2016年9月まで
	飯牟礼 隆	（サッポロビール株式会社）	2016年9月より

## 【活動内容】

本年度も、BCOJ 活動の目的の実現に向けて取り組み、国際技術委員会を4回、分析委員会を7回、プログラム委員会を7回開催した。

## &lt;BCOJ 活動の目的&gt;

1. ビール醸造及び関連産業に於ける原料、資材、生産物を評価するための分析法の統一
2. ビール製造技術者相互交流による科学的、技術的研究の促進
3. 同様の目的を持つ他の国外及び国内の組織との協働

## 1. 海外関連団体との技術交流

## (1) World Brewing Congress (WBC) への参加について

2016年8月13日(土)～17日(水)、Denver (Colorado, U.S.A.) にて開催された 2016 World Brewing Congress (WBC) に、豊嶋議長、室分析委員長、鈴木分析副委員長、堀プログラム委員長、加藤分析委員、平井審議役、藤田審議役、白井事務局長が BCOJ として参加した。本大会においては BCOJ シ

ンポジウムが開催され、豊嶋議長からの挨拶および日本から3演題が発表された。本大会において加藤分析委員がBCOJ共同実験結果(2015年度)のポスター発表を行った。BCOJ各社のビール4ケースずつを今大会に寄贈し、大会期間中に会場で配布された。またASBC議長主催のBCOJレセプションに招待いただき、ASBCとBCOJメンバーが交流した。後日ASBCから、BCOJとしてのWBCへの貢献に対して「WBC Contributing Organization」として記念品(盾)が授与された。



ASBC と BCOJ メンバーの交流



ビール寄贈



ASBC から贈呈された記念品

## (2) BCOJ 年次大会の開催と ASBC 議長の招聘について

11月10日(木)~11日(金)、星陵会館(東京)にて2016年度のBCOJ年次大会を開催し、加盟ビール各社、関係官庁、企業等から延べ288名が参加した。本年度も、年次大会での発表~懇親会を通じて、魅力的な商品の開発や美味しさの実現、安全の確保等に関する技術的な知見の向上等を目的として、活発な技術発表、意見交換を行った。

ASBCから、議長(Ms. Christine S. White)、元議長(Dr. Thomas H. Shellhammer)、アジア担当(Dr. Xiang Yin)をBCOJ年次大会に招聘し、ASBC議長より「The evolution of the US major and craft brewers」の演題で講演頂いた。

また、議長として、ビール関連分析法の国際標準法採択のため、BCOJ、ASBC、EBCの三者間協定を締結し、BCOJの活動目的である「醸造に関わる分析法の統一」、「製造技術交流による科学的・技

術的研究の促進」、「同じ目的の国内外関係組織との協働」の3点に大きく貢献された大河内 基夫氏に、感謝の意を表しBCOJ功績賞を贈呈した。

さらに招待講演としてハウス食品グループ本社（株）基礎研究部の今井 真介氏より「涙の出ないタマネギ スマイルボールの開発」についてご講演頂いた。スマイルボールについては懇親会で提供され、通常のタマネギとスマイルボールの試食を行った。



ASBC 議長によるプレゼンテーション



功績賞受賞式



招待講演



懇親会の様子

## 2. 分析委員会による分析法の拡充

- ・分析委員会活動報告参照

## 3. プログラム委員会による技術交流および共同研究の促進

- ・プログラム委員会活動報告参照

## 4. ボード委員会の開催

### (1) 第1回（4月：ビール酒造組合）

- 議題： ・WBC への参加、WBC での BCOJ シンポジウムについて  
・2016 年 BCOJ 功績賞受賞者の選出

- ・ BCOJ 共同実験について
- ・ 東京大学との共同研究について
- ・ 2016 年年次大会について

(2) 第 2 回 (9 月：オリオンビール社 名護工場)

- 議題：
- ・ World Brewing Congress (WBC) 参加報告
  - ・ 2016 年度 BCOJ 共同実験について
  - ・ BCOJ 年次大会について
  - ・ 瑞泉酒造様との交流

(3) 第 3 回 (11 月、星陵会館)

- 議題：
- ・ 2016 年度 BCOJ 年次大会日程について
  - ・ BCOJ 共同実験について
  - ・ 次年度予算の検討について

(4) 第 4 回 (12 月、サントリー社白州蒸溜所)

- 議題：
- ・ 年次大会振り返り
  - ・ BCOJ 共同実験の報告
  - ・ 2016 年の活動予定について
  - ・ ASBC との関係について



9 月 第 2 回ボード委員会にて



9 月 瑞泉酒造様との技術交流

以上

(作成：事務局長 飯牟礼 隆)

## 2016年度BCOJ分析委員会活動報告

分析委員会委員長 室 公志

副委員長 鈴木 康司

2016年度の分析委員会は下記メンバーで活動した。2016年1月1日より12月31日の活動期間を通じ、分析委員会を7回開催した。

委員長 : 室 公志 (キリン(株))  
副委員長 : 鈴木 康司 (アサヒビール(株))  
委員 : 野場 重都 (アサヒビール(株))  
宮城 剛 (オリオンビール(株))  
仲田 創 (サッポロビール(株))  
澤田 美穂 (サントリービール(株))  
加藤 小百合 (キリン(株))

ビール酒造組合審議役 :

平井 浩一 (アサヒビール(株)) 8月まで  
藤田 敦 (サントリービール(株))  
野口 勝弘 (キリン(株))  
齋藤 哲哉 (サッポロビール(株)) 9月より

### 1. 2016年度BCOJ共同実験

- ・「アルコールライザーによる酒母中のアルコール分析」を2016年度BCOJ共同実験の対象とすることとした。
- ・酒母は輸送中にアルコール濃度が変化するため複数試験室による共同試験に適さないことから、キリン社による単一試験室による妥当性検証を行うこととした。
- ・東京国税局のご指導のもと、国税庁所定法である蒸留法と比較する試験系を策定した。
- ・2016年末から2017年初めにかけて、妥当性検証試験を実施する。

### 2. 2016年度BCOJ勉強会

- ・9月16日ビール酒造組合A会議室にて、以下の勉強会を開催した。参加者はBCOJ各社およびビール酒造組合から約30名であった。

演題 : 「食品分析法の妥当性確認」

講師 : 農研機構 食品研究部門 内藤成弘先生

### 3. 国際協力活動

#### (1) ASBC Technical Committee

- ・8月12日 アメリカ・デンバーで開催され、委員長、副委員長及び藤田審議役が出席。
- ・EBC分析委員会からも活動報告があった。

## (2) ASBC Collaborative Trial

- ・2015年度ASBCよりBCOJ宛にNIBEM法の共同実験への参加依頼があり、キリン社およびアサヒ社の2社が参加した。その結果は、2016年8月12日に開催されたASBC Technical Committeeでレビューがあったが、バラツキは許容範囲内にあり、分析法は国際法（IM法）への登録が答申された。
- ・2016年にはASBCよりBCOJ宛にNIBEM法、LOX分析法の共同実験への参加依頼があり、アサヒ社から2試験室参加することとなった。

## (3) EBC Analysis Committee

- ・特になし。ASBC Technical Committeeにも出席していたEBC分析委員長は年内に委員会を開催したいと考えていたが、業界再編の影響があつて2016年度の開催については実現しなかった。

## 4. 情報公開活動

- (1) 2015年度BCOJ共同実験“Determination of Lower Boiling Volatiles in Beer by Headspace (HS) GC/MS”について、8月に開催されたWorld Brewing Congressにてポスター発表を実施した。併せて本共同実験レポートの*Journal of ASBC*への掲載を依頼し、同誌に掲載された(Vol.75, No.4, pp.272-277: 2016 (<http://dx.doi.org/10.1094/ASBCJ-2016-4654-01>))。
- (2) 上記共同実験を元に「低沸点香気成分-ヘッドスペースGC/MS法」をBCOJビール分析法として新設する。分析法は、日本醸造協会誌に掲載された(第111巻, 第12号, pp.830-834: 2016)。
- (3) 2016年度BCOJ年次大会にて分析委員長より分析委員会の活動紹介を口頭で行った。

## 5. BCOJ分析委員会中期計画

- ・2013年末に策定した2014～2018年の中期計画に従って、活動を行っている。
- ・2016年にはBCOJ官能評価法の改訂が完了し、日本醸造協会より出版準備中となっている。主に紙版で出版していく方向性である。
- ・各社協調領域課題の探索を行った結果、2017年度は噴きの予知法および寒冷混濁などに関する情報交換を各社間で進める方向性となった。

以上

(作成：分析委員副委員長 鈴木 康司)

## 2016年度 プログラム委員会活動報告

### 《メンバー（敬称略）》

2016年度のプログラム委員会は、下記のメンバーで活動した。

委員長	堀 智彦	(キリン株式会社)
副委員長	土井 規夫	(アサヒビール株式会社) 2016年3月まで
	岡田 啓介	(同上) 2016年4月より5月まで
	脇平 崇浩	(同上) 2016年6月より
委員	倉兼 敏	(サントリービール株式会社)
	飯牟礼 隆	(サッポロビール株式会社) 2016年9月まで
	蛸井 潔	(同上) 2016年10月より
ビール酒造組合審議役	藤田 敦	(2016年8月まで)
	野口 勝弘	
	齋藤 哲哉	(2016年9月より)

### 《活動概要》

- ・ 2016年度のプログラム委員会は、計7回開催した。
- ・ 2016年度 BCOJ 年次大会は、11月10日、11日の2日間で開催し、288名の参加があった。大会での発表は、WBC再演（オーラル11件、ポスター14件）、招待講演（ハウス食品 今井博士）であった。質疑の質や量も高く、活気のある年次大会となった。大会開催については引き続き多数の方々から継続を支持されており、今後もより良い大会を目指していきたい。
- ・ 2008年6月より開始した東原和成教授（東京大学農学部生物化学研究室）との共同委託研究については、プログラム委員会がその企画、窓口となり、委託研究費用は0円として継続した。円滑な研究推進に向けて、必要に応じて研究室を訪問し意見交換を行った。

### 《委員会》

- ◆ 2月1日 第1回委員会（ニッカウキスキー 門司工場）  
2016年度各委員担当確認、年次大会について、招待講演について、委託研究について
- ◆ 2月23日 東京大学 東原研究室訪問  
委託研究進捗確認、2016年度の契約継続の打診、年次大会でのポスター発表について
- ◆ 3月18日 第2回プログラム委員会（キリン株式会社 北海道千歳工場）  
年次大会について、委託研究について、プログラム委員会の開催場所について
- ◆ 5月30日 第3回プログラム委員会（ビール酒造組合）  
委託研究について、招待講演について、年次大会について  
東原先生訪問 委託研究進捗確認、契約更新確認
- ◆ 7月19日 今井博士訪問 招待講演 事前打ち合わせ
- ◆ 8月5日 第4回プログラム委員会（サントリー 白州蒸溜所）  
年次大会に向けた工程表確定、委託研究について
- ◆ 10月7日 第5回プログラム委員会（星陵会館）

年次大会と懇親会の準備および運営に関する詳細内容確認、委託研究について

- ◆ 11月9日 年次大会前日準備
- ◆ 11月10、11日 年次大会
- ◆ 11月29日 第6回プログラム委員会（ビール酒造組合）  
委託研究について、2017年度プログラム委員会開催日程について  
東原先生訪問 委託研究進捗確認
- ◆ 12月9日 第7回プログラム委員会（サッポロビール 九州日田工場）  
年次大会振り返り、翌年の活動について

以上

（作成：プログラム委員長 堀 智彦）

ビール酒造組合国際技術委員会（BCOJ）事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-16-7 銀座大栄ビル 10F ビール酒造組合内

TEL：(03)3561-8386（代表） FAX：(03)3561-8380 E-mail：info@brewers.or.jp

ホームページ：<http://www.brewers.or.jp/bcoj/index.html>